

鹿ノ台川柳教室 会員の新聞投句 掲載された句

(六月十九日〜七月十五日各紙掲載分)

七月四日 題「ペット」 よう子

子供よりペットが多い近未来 よう子

七月十一日 題「首」

ネクタイに解放されて増す病 よう子

傷跡をかくし通せぬハイネック 正清

非婚化に白ネクタイが所在無げ アキラ

奈良新聞 自由吟

六月二十一日 藤原一志選 アキラ

有り難く生きた平和と民主主義 よう子

居場所無い子らが群がるネット裏 正清

カラ元気アシストモーター付いている 幸男

民の声聞こえぬ耳に補聴器を 幸男

七月十二日 大楠紀子選 よう子

まだまだとシニアライフを謳歌する 正清

常闇にるとし続くけもの道 アキラ

夏越の祓い済ませ焼肉大ジョッキ 幸男

聞き飽きた記録記憶とあの言葉

*橘正清、林勝利、前田幸男、各氏は短歌俳句でも活躍

炎天下並ぶ当たりの出た売り場

読売新聞 阪本高士選 正清

六月二十四日 題「残る」

残像にブルーモーメントの刹那 正清

七月一日 題「黒」

ブラックホールは血液の終点 正清

七月八日 題「売る」

八掛けの値札を見いる雨蛙 正清

七月十五日 題「涼しい」

けもの道マイナスイオンのぞくぞく 正清

涼しさはラムネサイダー戦前派 幸男

産経新聞 本田智彦選

六月十八日 題「コロコロ」

連発ギャグ凍りつく場を溶かします 千楽

奈良新聞 居谷真理子選

六月二十日 題「仕事」

改ざんと廃棄で稼ぐ残業費 英二

縁の下きつと見ているおでんとさん 千楽

今朝からは無職と記す虚しさや 幸男

六月二十七日 題「逃げる」

あの時も主観的には逃げてない 英二

マイナンバーや位置情報が追ってくる アキラ

逃げきれぬ監視カメラの目が光る よう子

エスケープ地の果てに来て夜となる 正清

次回 八月二十日、十二時十五分開場、西集会所

宿題は「輪」、「濁る」、「自由吟」 各二句

* 席題選者 正清 十二時三十分「お題」発表

* 「輪」連記 選者 義雄

* 「自由吟」(共選) 選者 良一 よう子

* 「濁る」互選

出句、宿題・席題 とも十三時

問合せ

原 広子 (79・0061)

野々村詮 (090・6961・1292)

